



賢く 優しく 逞しく

4月号・令和5年4月7日発行

本校URL <http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/>

武蔵村山市立第五中学校

一人一人が可能性を伸ばし輝く学校を目指して

校長 榎戸 千代子

入学、進級おめでとうございます。

春光うらかな好季節となりました。令和5年度は、新入生170名、2年生192名、3年生212名、全校生徒574名、16学級で出発します。新型コロナウイルス感染防止のためのマスク着用も個人の判断になりました。今年度は、引き続き感染症防止対策を継続して、通常の教育活動や学校行事を進めてまいります。保護者の皆様におかれましても、御家庭での感染症防止に努めていただくとともに、学校での教育活動に御理解、御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、本校は創立43年目を迎えます。これまでの歴史と伝統を受け継ぎ、さらに発展できるように力を尽くしてまいりたいと思います。

今年度の学校経営方針は、教育目標の「互いに助けあい思いやりのある生徒（優しく）」に重点を置いて教育活動を進めてまいります。また、五中校区の教育目標である「確かな学力と豊かな心を育み、自信と誇りをもって21世紀を逞しく生き抜く子供の育成」を目指して二小、八小、十小との児童・生徒間交流や教職員研修を充実させ、9年間を見通した子供の育成を図ってまいります。さらに、コミュニティ・スクールとして、保護者・地域の皆様との連携をより一層深め、「チーム五中」として取り組んでまいります。

令和5年度 学校経営方針

◆ 本校の教育目標（目指す生徒像）

- 正しく判断でき主体的に実行できる生徒（賢く）
- ◎ 互いに助けあい思いやりのある生徒（優しく）
- 身心をきたえ何事もやり通す生徒（たくましく）

◆ 目指す特色ある学校像

「すべての生徒が生きる力を身に付け、学び成長することができる学校」

- (1) 生徒一人一人が学力と体力の向上に主体的に取り組み、豊かな個性と能力の伸長を図る。
- (2) 仲間とのよりよい人間関係や集団生活を大切に、豊かな心と社会性を育む。
- (3) 地域を知り、地域に貢献する活動を通して地域や社会の一員としての生きていく自覚を高める。

◆ 経営の主な具体策 ※詳しくは4月の保護者会で資料をお配りし、説明します。

- (1) 学習計画表」を活用し、家庭と連携して家庭学習を習慣化させ、学習意欲の向上を図ります。
- (2) 朝読書やNIE（新聞活用）、eライブラリ等を活用し、基礎・基本の定着を図ります。
- (3) 一人一台のタブレット端末を用いた授業や放課後の地域未来塾、補習教室を実施し、個に応じた指導を進めます。また、漢検、数検、英検を奨励し、学力の向上を図ります。
- (4) 人権尊重教育、道徳教育、特別支援教育を推進し、あいさつと思いやりの心を育てます。
- (5) 年2回の三者面談を実施し、家庭と連携した学習指導、生活指導を充実させます。
- (6) いじめ防止対策委員会を中心にいじめの未然防止、早期発見、早期対応を全校体制で行います。



第五中学校は、「明るい笑顔とあいさつ、周囲への気配り」のできる生徒、教職員、学校でありたいと思っています。そして、ここで学ぶ五中生は「宝」であり、その大切な「宝」である生徒一人一人の無限の可能性を引き出し、輝かせるために、教職員一同一致団結し、「チーム五中」として教育活動を進めてまいります。生徒にとって「お互いに切磋琢磨し学び合える学校」、保護者にとって「安心して任せられる学校」、地域にとって「誇れる学校」、教職員にとって「やりがいのある学校」を目指して今年度も工夫・改善に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。